



公園都市“清瀬”を象徴する緑あふれるコンパクト庁舎 “緑と一体になった、サステナブル庁舎の提案”

- ・サステナブル庁舎：環境負荷の低減はもとより、災害時においても機能を発揮し、社会の変化に柔軟に対応できる長く愛される、持続可能な庁舎とします。
- ・基本理念、機能に則り、誰にとっても安心安全で、効率的で社会の変化に柔軟に対応できる、長く愛される庁舎を具現化します。
- ・緑化による高断熱化、庇、整型外部ルーバーなど、外観にその機能美が表れる計画とします。

「安全、安心な庁舎づくり」についてのコンセプト

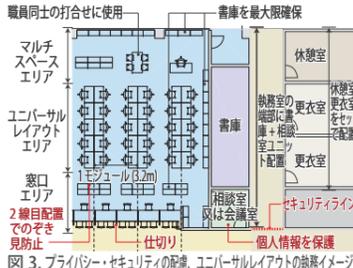
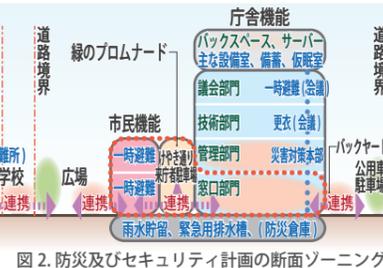
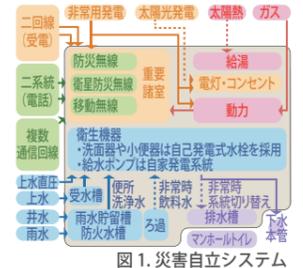
1 ハードからソフトまで心遣いの行き届いたおもてなし庁舎

①防災拠点となる安全な庁舎

- ・災害時も機能維持する**免震構造**、**災害時自立システム**の確立と併せて、**災害対策本部機能**の確立した災害に強い庁舎とします。
- ・上部構造は低コストで、免震効果を最も発揮しやすいS造を主体とした外周**SRCのハイブリッド構造**を提案します。
- ・**備蓄倉庫**の確保、復旧活動に支障をきたさない**一時避難場所**の設定など適切な計画とします。

②誰もが安心して利用できる庁舎

- ・**ユニバーサルデザイン**に基づく移動経路の確保、着座式ローカウンター設置他、キッズ・授乳コーナーを設置します。
- ・相談窓口や執務室のレイアウトは**プライバシーに配慮**し、仕切り、相談室等を設置します。
- ・執務室、管理部門は来庁者と明確に区分する**セキュリティ計画**とし、サーバー室は職員専用フロアの最上階に設置しセキュリティを高めます。

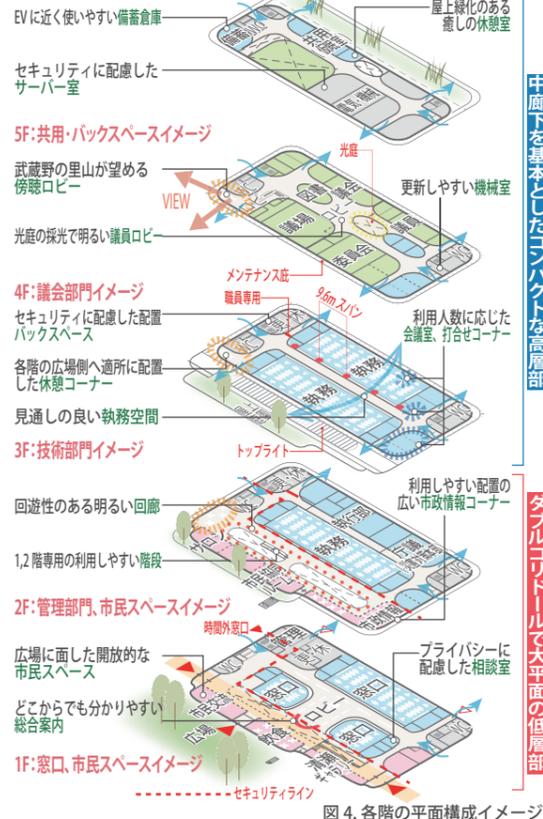


「使いやすい効率的な庁舎づくり」についてのコンセプト

2 市民利用の大平面な低層部と効率的でコンパクトな高層部による合理的庁舎

①良質な市民サービスを提供できる庁舎

- ・1階に**ライフイベント**窓口を集約、2階に**管理部門**、3階に**技術部門**、4階に**議会部門**と分かりやすい階構成とし、**市民利用スペース**は1~2階の広場に面した利用しやすい配置とします。
- ・窓口は分かりやすい場所の**総合案内**と**フロアマネージャー**による案内を基本に、分かりやすいサインや案内表示とし、特に1階は**天井の高いゆとりのある快適な待合空間**とします。
- ・1~2階は**大平面**で吹き抜けのある**ダブルコリドール型**、見通しの良い分かりやすい計画とします。
- ・執務空間は**コンパクトな両端コアの中廊下型**、カウンター面柱スパンが**9.6m**と柱の少ない、見通しの良い**オープンフロア**計画とします。
- ・各階のバックヤードエリアに職員用の**休憩室**、男女別の**更衣室**を設けます。特に1階窓口職員用は**昼食利用も考慮**した休憩スペースとします。



②効率的で使いやすい柔軟な庁舎

- ・市民交流スペースは**繁忙期の臨時窓口**に利用できる構成とし空間効率を向上させます。
- ・執務空間は移設しやすい**間仕切壁**、OAフロアとし、組織改編に対応容易な**ユニバーサルレイアウト**を採用した柔軟な計画とします。
- ・余裕ある設備スペース、重荷重エリアの想定、**外壁メンテナンス**底など、**将来の修繕・更新性、清掃のしやすさ**に配慮します。

「誇りと愛着を持てる庁舎」についてのコンセプト

3 「ひと」「みどり」が主役のグリーンパーク庁舎

①市民とのつながりが広がる庁舎

- ・休憩コーナーは建物内外及び各階に適所に計画し、居場所のある**“公園のような庁舎”**とします。
- ・市民協働を支援する**保育所の設置**や会期外の議場の開放など、**“これからの庁舎”**を**市民目線**で関係者と共に模索していきます。

②清瀬の地域性と環境に配慮した庁舎

- ・広場はこの地の2万年前からの人の営みや、近隣に点在する**縄文遺跡を象徴するモニュメント**を配置し、清瀬の歴史を感じさせる設えとします。
- ・市民スペースや待合空間は**木材を用いた親しみやすい内装**とし、家族への愛着や絆の深さを象徴する**“うちおり”**の縞模様をモチーフとしたデザインを取り入れるなど、温かみのある計画とします。
- ・南北廊下や階段室による**通風**、光庭による採光など**自然エネルギー**を活かし、**昼光センサー**、**高効率機器**の採用、さらには**太陽光発電**や**マイクロコジェネ**等の**創エネ**により、**“サステナブルな庁舎”**とします。



図5. 緑のカフェイメージ(弊社実績) 図6. 木質化イメージ(弊社実績) 図7. うちおりの縞模様

「市民・地域とのネットワーク」についてのコンセプト

4 清瀬ネットワークの軸となる「緑のプロムナード」

- ・きよせ通りから健康センターのロビーまで庁舎内を貫く、**“緑のプロムナード”**を設けます。
- ・緑のプロムナードは、**清らかな風が通りぬけ、木漏れ日が落ちる**、象徴的な柱が連続した空間とします。
- ・市民協同スペース、飲食スペース、情報コーナー、待合空間等を緑のプロムナードに**寄り添うように**配置し、**“オープン”**な空間とすることで市民活動が感じられる計画とし、市民と行政、市民同士や地域活動につながりを創りだします。
- ・夜間休日の**セキュリティライン**を確立し、いつでも利用できる市民活動の場として計画し、ここに展開する**緑の手入れ**を市民に任せ、ボランティア、地域貢献意識を高めます。

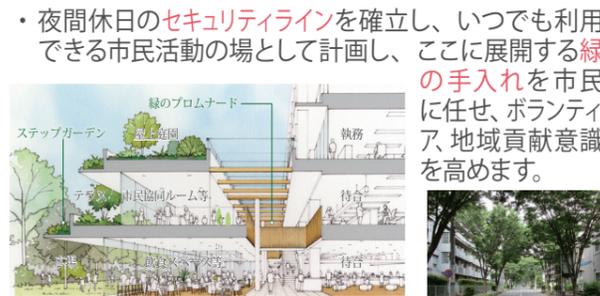
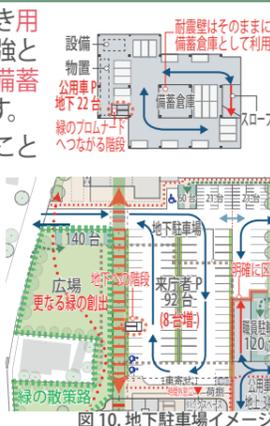


図8. 緑のプロムナードとオープンな市民スペースのイメージ 図9. 木漏れ日イメージ

「独自性のある提案」についてのコンセプト

5 既存庁舎地下の有効利用で更なる「みどり」の庁舎に

- ・既存地階は耐震診断に基づき**用途変更が可能**です。耐震補強と改修により**公用車駐車場**や**備蓄倉庫**への再利用を提案します。
- ・地上の公用車台数を減らすことができ、来庁者駐車場との**区分をより明確**とできると共に、敷地西側に**更なる緑のゆとり**を創出します。
- ・1階スラブ、梁を現状GLレベル付近への付け替え工事費は**地階解体費の範囲内**で十分実現可能です。



「周辺環境との関わり方」について

6 周囲に優しい思いやりのランドスケープ

- ・庁舎は周辺への日照や風の通り道を意識した**セットバック型**とし、**圧迫感を軽減**します。
- ・西側に広がる武蔵野台地の里山に呼応するように、広場から**断面的につながる緑化計画**を行うことで、緑に溶け込む庁舎とします。
- ・西側バス停は庁舎建物へ**アクセスしやすい配置**とし、広場と一体的に計画します。
- ・貴重な**既存大木**を活かしながらけやき通りからの**連続性**に配慮し、ケヤキを中心とした植栽を行い、西側歩道の**拡幅整備**と併せて、安全で快適な**“緑の散策路”**を整備します。

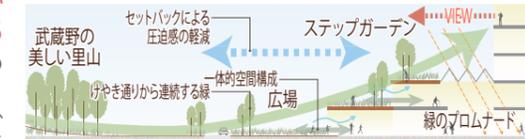


図11. 断面的につながる緑化計画イメージ



図12. 緑のプロムナードの機能ダイアグラム

「動線計画上の配慮」について

7 緑のプロムナードによる明快な動線計画

①車輛動線計画

- ・来庁者駐車場の出入口は**西側道路**から、公用車駐車場の出入口は**東側道路**から、タクシー、バスは**南側正面**車寄からとし、歩車分離と合わせて明確に区分します。
- ・来庁者駐車場は車寄せ機能を持たせるため**右回りの一方通行**で計画します。
- ・公用車駐車場は緊急時の対応として**多方面**の道路にも出動できる配置計画を行います。

②歩行者の主動線“緑のプロムナード”

- ・緑のプロムナードは、自家用車、自転車、バス、タクシー利用による**多方向からアクセス**する動線を整理する要として機能します。
- ・庁舎と健康センターとの区間は、**太陽電池パネルの屋根**や**緑のスクリーン**を施した雨や日射を防ぐ**プロムナード**として計画し、駐車場から両施設への歩行者アクセス動線を**明確化**し、**施設連携を容易**にします。



図13. 緑化駐車場と一体となる緑のプロムナード

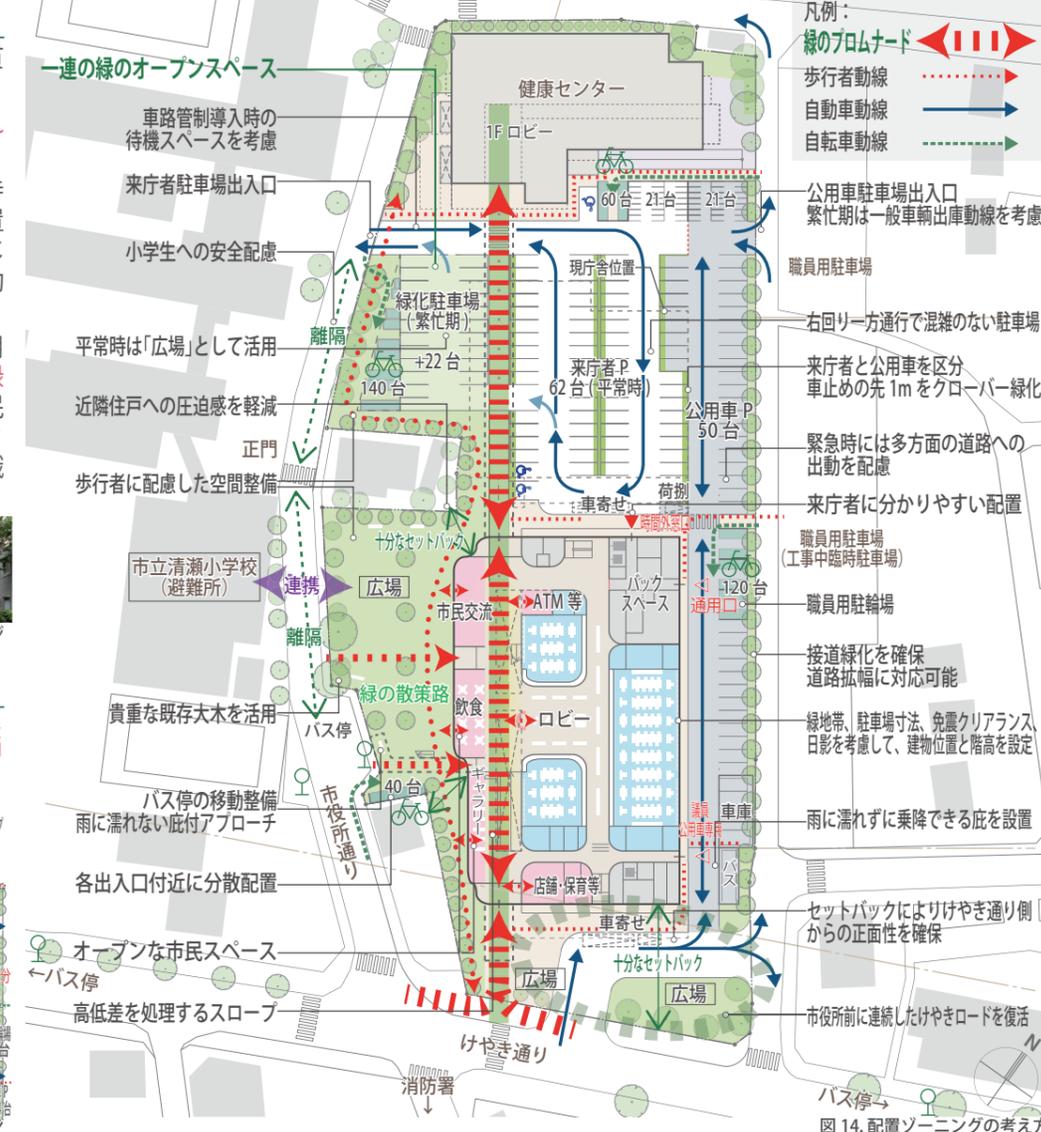


図14. 配置ゾーニングの考え方